

調査等事項報告（団体名：市政・公明クラブ）

視察先	静岡県 掛川市役所
対応者	議会環境産業委員長 高橋篤仁、都市建設部都市政策課長 中山教之 都市整備課都市整備係長 渡邊誠市 技師 竹原翔汰 危機管理課防災・防犯対策課係長 松原大悟
視察日時	令和7年10月16日(木)9時45分～11時30分
視察項目	都市構造再編集中支援事業について
視察者	秋葉新一・大山正弘・石澤祐一・高橋菜穂子・矢萩浩次・細矢清隆・吉田 創・ 瀧田順子・森 直也・松倉慶子
報告者	石澤祐一
視察の内容	<p>掛川市は日本列島のほぼ中央に位置し、静岡県の二大都市、静岡市と浜松市の 中間に位置し、中東遠地域の中核的存在の町です。人口は114,436人（令和7年 10月7日現在）で、昭和54年に全国に先駆けて「生涯学習宣言都市」を行い、現 在多くの市民に「報徳の精神」と「生涯学習の理念」が根付き、市民一人ひとり の充実した生きがいと郷土に愛着を持てる「協働のまちづくり」が進められています。</p> <p>都市構造再編集中支援事業について 事業に取り組んだ背景ときっかけについて</p> <p>掛川駅周辺地区</p> <p>掛川駅周辺地区は令和元年に行われたラグビーワールドカップで、掛川駅に人 が詰めかけた際に人の移動の円滑化、ネットワークが課題として挙げられた。 R6年度で都市構造再編中支援事業は完了したが、次年度以降は街中ウォーカブル 事業にて継続的に整備を進める予定。</p> <p>下垂木地区</p> <p>掛川市街地の北西外苑部に位置し、緑豊かな自然環境が広がっている一方で、 第3セクターの天竜浜名湖桜木駅や高速道路森掛川インターチェンジの接続する 主要地方道掛川天竜線にアクセスしやすいことから住宅地としての需要が高まっ ていた。</p> <p>当初は区画整理によるまちづくりを計画したが、住民の同意が得られず、民間 による小規模宅地開発が行われ、都市基盤施設が不十分なまま市街化が進行した。 そのため、都市再編集中支援事業による面的整備を計画。「安全・安心・快適に住 み続けられる活気のあるまち下垂木」を目標として事業を継続中。</p> <p>「かけがわ けつトラ市」「友引ストリートカフェ」官民協働によるまちづくり活 動</p> <p>駅通りを歩行者天国にし、軽トラックの荷台をお店にして新鮮野菜などを販売。 その他、お楽しみ抽選会や路上ライブを開催。H22年10月に第1回、その後毎月 第3土曜日9時～12時開催。出店数は最初20店でコロナ前は35店。来場者は 3,000人/回だったが、コロナの影響で中止していたが、R3年より開始したが、コ</p>

口ナ前には戻らなかった。そのため、開催回数を見直し雑貨販売や行政PRブースを追加し、ケットラ市をリニューアルした。

下垂木地区

まちづくり事業として

① ゆうゆうパーク（公園）整備工事

- ・地下式調整池 $V=793 \text{ m}^3$
- ・多目的広場兼用調整池 $V=434 \text{ m}^3$
- ・防災四阿 $N=1$ 基
- ・かまどベンチ $N=3$ 基
- ・ソーラー照明灯（コンセント付） $N=2$ 基

② 普通河川一色川改修工事

整備延長 $L=290\text{m}$ $H=1800 \times B 2400 \sim 3100$ ・降雨強度 7年確立

民間事業

掛川市土地利用事業の適正化に関する指導要綱

- ・整備面積 1000 m^2 以上の土地利用事業に対して適用
- ・調整池の整備を指導（7年確立 降雨強度 83 mm/h ）

開発行為（都市計画法）

- ・建築物の建築を目的とした敷地面積 3000 m^2 以上の土地利用事業に適用
- ・調整池の設置を義務付け（50年確立 降雨強度 117 mm/h ）

希望が見えるまち、誰もが住みたくなるまちづくり

掛川市ではH25年4月に掛川市自治基本条例を施行。

まちづくりの基本的な考え方は市民等が等しく主体的に参画でき、自ら行動することや、互いに信頼し、支え合い、役立ちあいながら、まちづくりを推進する。

R7年度は第3次掛川市総合計画の策定を予定し、基本的な考え方は

- ①未来に向けてチャレンジできるまち
- ②DE&Iの推進と多様な市民参画
- ③持続可能な暮らしを実現する DX
- ④新しい時代へ対応
- ⑤未来へつながる協働と共創によるまちづくり
- ⑥未来志向型のアプローチ

現地研修では現在事業中の下垂木地区第1期、第2期都市再編集中支援事業として一色川の整備状況、民間で設置した調整池、そしてゆうゆうパーク（公園）の整備状況を視察してまいりました。

研修しての感想

今回の研修で、民間の力を借りて宅地造成や調整池の整備を実施することにより新たな住宅地が誕生し、店舗も入り活性化している状況が見られておりました。河川整備も一緒に整備し、公園は災害時も使えるソーラーが入り地下には調整池を配置するなど先進地であり大変参考になる視察でありました。当市でもまだ民間開発がようやく進んできている現状で当市でも取り組んで行くべきと感じました。

調査等事項報告（団体名：市政・公明クラブ）

視察先	一般社団法人グローバルアカデミー 放課後児童クラブ CrazyLab.																																																																																																																							
対応者	CEO 畠山祐輔																																																																																																																							
視察日時	令和7年10月16日(木) 14時00分～15時30分																																																																																																																							
視察項目	放課後児童クラブ																																																																																																																							
視察者	秋葉新一 矢萩浩次 松倉慶子 瀧田順子 森直也 高橋菜穂子 細矢清隆 石澤祐一 大山正弘 吉田創																																																																																																																							
報告者	吉田 創																																																																																																																							
視察の内容	<p>1. 施設概要</p> <p>開設：令和5年4月開設（3年目） 定員：38名（登録児童数52名） 開所時間：平日 11:00～20:00 土曜日 8:00～18:00／長期休暇 8:00～19:00 職員体制：放課後指導員2名（保育士資格有） 補助員3名</p> <p>2. 運営理念・特徴</p> <p>子どもたちが「やりたいことに挑戦できる」放課後を。 共働き家庭が「安心して選べる」放課後環境を。</p> <p>特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間ならではの柔軟な運営で、家庭や地域のニーズに対応 ・預かるを超えた学びと体験の場を提供 ・子ども自らの活動企画（イベントやプロジェクト） ・地域・企業との連携で「働くこと」「社会とかかわること」への興味を育む <p>3. 運営状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> <th>5年</th> <th>6年</th> <th>レギュラー合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東豊田小</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>東源台小</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>有度第一小</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>有度第二小</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>羽鳥小</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>西豊田小</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="7">スポット</th> </tr> <tr> <th>学校名</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> <th>5年</th> <th>6年</th> <th>スポット合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東豊田小</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>東源台小</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>有度第一小</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>有度第二小</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>羽鳥小</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>西豊田小</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	レギュラー合計	東豊田小	3	2	2	2	0	0	9	東源台小	3	2	1	0	0	0	6	有度第一小	0	0	1	0	0	0	1	有度第二小	0	4	1	3	0	0	8	羽鳥小	0	0	0	0	0	0	0	西豊田小	0	0	0	0	0	0	0	スポット							学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	スポット合計	東豊田小	2	2	0	1	0	3	10	東源台小	1	1	1	1	5	0	9	有度第一小	1	0	0	0	0	0	1	有度第二小	0	2	0	0	1	1	4	羽鳥小	0	0	0	2	0	0	2	西豊田小	0	0	0	0	0	0	0
学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	レギュラー合計																																																																																																																	
東豊田小	3	2	2	2	0	0	9																																																																																																																	
東源台小	3	2	1	0	0	0	6																																																																																																																	
有度第一小	0	0	1	0	0	0	1																																																																																																																	
有度第二小	0	4	1	3	0	0	8																																																																																																																	
羽鳥小	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																																	
西豊田小	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																																	
スポット																																																																																																																								
学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	スポット合計																																																																																																																	
東豊田小	2	2	0	1	0	3	10																																																																																																																	
東源台小	1	1	1	1	5	0	9																																																																																																																	
有度第一小	1	0	0	0	0	0	1																																																																																																																	
有度第二小	0	2	0	0	1	1	4																																																																																																																	
羽鳥小	0	0	0	2	0	0	2																																																																																																																	
西豊田小	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																																	

<p>4. 人材育成と職員体制 「寄り添う」「見守る」「支える力」「企画・運営力」を育てる</p> <p>5. 習い事・プログラム内容と料金形態 保護者にとっても「時間的・金銭的に無理なく」選べる体制を整備。 また、子どもたちの「やりたい！」が叶うきっかけとなるように、一コマから選択可能。 講師は外部講師に委託し、専門的に学べる</p> <p>月曜日 ブレイクダンス 火曜日 キックボクシング・フラダンス 水曜日 サイエンス・プログラミング 木曜日 彩結び書 金曜日 クラフト 土曜日 料理教室・地域イベント参加・出店 50分/1コマ 【料金】1コマ 1500円 集中コース 5500円（毎週受講プラン）</p> <p>6. 公設との違いと民間の強み</p> <p>【公設】 目的：安全な預かり提供 連携：学校・行政中心 柔軟性：制度に準拠 プログラム：宿題、基本的な遊び 魅力：安定性</p> <p>【CrazyLab.】 目的：預かり+体験+育成 連携：学校、行政、地域、企業、保護者 柔軟性：家庭ニーズ、何より児童の特性に応じ柔軟 プログラム：子ども主体、企画、宿題、習い事、社会体験 魅力：選択肢のある放課後、1日の楽しみ</p> <p>7. 今後の展望 • 放課後から未来を育む地域モデルの確立 • 地域企業・大学・行政との連携強化 • 支援員の専門性向上とキャリア形成支援</p>

【まとめ】

親が習い事をさせたいが、共働きの為送迎が出来ない。
そのような課題から選択肢を広げてあげることが必要と考えた。
学童が嫌だから学校に行かないという児童もいる。
そのため、学童に行きたいと思ってもらえるような取り組みをしている。
ルールをあまり設けず、こどもたちのしたい！やりたい！を尊重している。
保護者と運営側の関係性が出来ている。

定員が決まっており、早めに埋まってしまうのが課題。

また、学童の料金が高いため、通いたいけど、通えない児童がいるのも現状。今後誰でも通えるような環境を整える方針。

代表の畠山さんは

子どもの時から地域を知っているか、知っていないかで地域に残るかどうか決まってくる。知らないで都会へ行くのと、知っていて都会に行くのは全然違う。こどものうちから地域を知ることで、将来静岡に残りたい。戻りたいと思うことが出来る。

静岡県には自分のあっている会社がないと思い込んでいるだけ。

だから地域を知れるように選択肢を広げさせてあげることが大事と考えている。

村山市にはそのような学童はないが、今後そういった学童の必要性も出てくる。部活動も地域移行になってくるため、地域の連携もますます重要になってくる。地域にかかわることで、いろいろな発見があるため、学童を通して、村山市の児童も村山市に残ってくれる。戻ってきてくれることを願いたい。

地域に愛着を持たせる環境が必要。

こどもの選択肢を広げてあげることが大人の努め。

調査等事項報告（団体名：市政・公明クラブ）

視察先	静岡県三島市
対応者	こども未来課室長 織部 美枝 様 こども未来課課長 岩崎 淳子 様
視察日時	令和7年10月17日(金) 10時00分～11時30分
視察項目	結婚支援について
視察者	高橋菜穂子、秋葉新一、石澤祐一、矢萩浩次、瀧田順子、森 直也、松倉慶子、細矢清隆
報告者	細矢清隆
視察の内容	<p>三島市ハッピーマリッジ事業について（結婚支援）</p> <p>1 本市における未婚化・少子化の現状</p> <p>人口 平成17年 113,910人 令和6年 104,410人 (▲8,4%)</p> <p>婚姻件数 平成17年 1,377件 令和6年 1,033件 (▲25%)</p> <p>出生数 平成17年 940人 令和6年 502人 (▲47,6%)</p> <p>2 会議体の設置と事業化</p> <p>背景と目的</p> <p>様々な少子化対策を進めてきたが、出生数の減少に歯止めがかかる状況が続いている。そこで、市の地域的特徴や実情等を考慮した実効性のある具体策を検討し、具現化することを目的に、多様な年代の職員による「少子化対策検討会」を立ち上げた。</p> <p>組織構成</p> <p>会長～副市長 構成員～20代～50代の職員、27名</p> <p>会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化対策検討会（3回） ・市長への政策提言（令和6年9月） ・グループ検討会議（令和6年9月～11月） <p>官民連携プロジェクト～令和6年11月</p> <p>構成員～市内12事業所機関から未婚の男女16名</p> <p>ハッピーマリッジ事業の予算措置（事業化）</p> <p>令和7年度予算総額22,828千円</p> <p>3 ハッピーマリッジ事業の4本の柱</p>

	<p>(1) 成婚促進にかかる民間委託事業 (2) 出会いの場創出支援事業 (3) みしまライフデザイン・結婚支援事業 (4) 恋活プロモーション事業</p> <p>具体的な施策</p> <p>*スポーツ観戦縁結びバスツアー&フォローアップ講座 (予算額 2,800千円)</p> <p>事業概要 市と協定締結している、3つのプロスポーツチームとの連携によりスポーツ観戦縁結びバスツアーを開催</p> <p>対象者 市内在住・在勤または三島市への移住を検討している20歳～39歳の 独身の方</p> <p>*静岡ガス（株）連携「三島結び散歩」事業</p> <p>事業概要 クッキング体験や街歩きを通じた縁結びイベントを開催する</p> <p>対象者 市内在住・在勤または三島市への移住を検討している20歳～39歳の 独身の方男女各8人</p> <p>*ふじのくに出会いサポートセンター登録優待制度</p> <p>サポートセンターとは 静岡県と35市町で運営する結婚支援拠点「しずおかマリッジ」でお相手探しをおこなっているほか、結婚相談や婚活イベント、さらにはライフデザイン相談をもおこなっている。</p> <p>成婚実績～94件（令和7年9月30日時点）</p> <p>登録優待制度とは</p> <p>対象者 市在住の39歳以下の方で、市税の滞納がなく過去に補助を受けていない方</p> <p>優待価格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年会員 5,000円（通常10,000円） ・2年会員 8,000円（通常16,000円） <p>*みしまの未来に繋げる同窓会開催事業費補助金</p> <p>事業概要 同窓生の親睦を図るとともに、独身男女の出会いの場を創出するため、 市内小中学校の卒業生が開催する同窓会の経費を一部補助するもの</p> <p>対象となる同窓会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の小中学校卒業生が開催するもの
--	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年8月1日～令和8年2月28日に開催されるもの ・20歳～39歳の男女混合10人以上、出席者の半数以上が独身であること ・市内協力店舗で開催されるもの <p>補助対象経費</p> <p>飲食代 (酒類は対象外)</p> <p>補助額</p> <p>出席者1人当たり上限額3,000円 (1団体当たりの上限額60,000円)</p> <p>実績</p> <p>2件(令和7年10月1日)</p> <p>*みしまライフデザインシミュレーターの構築・活用</p> <p>事業概要</p> <p>結婚や子育てなどを含めた未来のライフデザインについて、より多くの方が若い段階から気軽に楽しくイメージができるように、ライフデザインシミュレーターを構築しライフデザインセミナーや縁結びイベント等において活用する</p> <p>*みしまライフデザインセミナーの実施(中学校)</p> <p>事業概要</p> <p>働き方やライフスタイルが多様化している中で、キャリアと結婚、出産、子育て等のライフイベントを両立できるよう、中学生のうちからライフデザインについて考える機械を提供する。</p> <p>実施内容～各校2回</p> <p>第1回</p> <p>テーマ～なりたい自分って、どんな自分? ～今から始める未来つくり～</p> <p>講 師～順天堂大学保険看護学部教師 西岡 笑子 氏</p> <p>第2回 (シミュレーター操作)</p> <p>講 師～1回と同じ講師</p> <p>*みしまライフデザインセミナーの実施(高校生、大学生、社会人)</p> <p>事業概要</p> <p>若いうちからライフデザインについて考える機械を提供する 高校生～市内高校生20名程度</p> <p>内 容～市職員講話(15分程度)、ワークショップ グループ発表等</p> <p>大学生～日本大学国際関係学部</p> <p>内 容～グループワーク、ゲストワーク、個人ワーク等</p>
--	---

	<p>社会人～企業の若手社員等</p> <p>内 容～基調講演、グループワーク、ライフプラン発表等</p> <p>*FM局連携「謎解きやロゲイニング縁結びイベント」</p> <p>事業概要</p> <p>謎解きゲームイベントを通して、若い世代の出会いの場の創出及び交流を図る</p> <p>開催日</p> <p>令和8年1月31日</p> <p>開催場所</p> <p>富士山三島東急ホテル</p> <p>事業内容</p> <p>自己紹介、交流イベント、フリーソフト等</p> <p>対象者</p> <p>20歳～39歳の独身の方、男女各8人</p> <p>費 用～一律2,000円（ホテルのスイツ等）</p> <p>*ロゴマークの作成</p> <p>*恋活広告動画制作、配信</p> <p>事業概要</p> <p>プロモーション動画を作成し県内及び首都圏に広告</p> <p>配信を行う</p> <p>動画概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住・働く編 ・恋愛・縁結びイベント編 ・結婚編 ・子育て編 ・まとめ編 <p>期 日</p> <p>令和7年10月1日～令和8年2月28日</p> <p>配信先</p> <p>県内中部、東部、東京都、千葉県、埼玉県、神奈川</p> <p>*結婚新生活支援補助金</p> <p>事業概要</p> <p>新婚に伴う生活を支援するため、住宅所得や賃借、引越し、リホームに係る費用を補助する</p> <p>対象者</p> <p>令和7年1月1日～令和8年3月31日に婚姻届を提出した夫婦</p> <p>要 件</p> <p>夫婦の合計所得金額500万円未満</p>
--	---

	<p>夫婦の年齢がいずれも39歳以上 夫婦がいずれも市税を滞納していない 補助額 夫婦ともに39歳以下の場合、上限30万円 夫婦ともに29歳以下の場合、上限60万円</p>
--	--

*あとがき

ハッピーマリッジ事業について、担当者から説明を受けて
これほど詳細に調べ、研究され婚活支援事業が行われていることに、大変
驚きました。何気なく行われている、同窓会、企業との連携による補助金
の利用等今後は発想の転換が必要と思う。

調査等事項報告（団体名：市政・公明クラブ）

視察先	フォレストアドベンチャー・小田原（神奈川県小田原市）
対応者	株式会社 T - FORESTRY 統括マネージャー 鈴木毅人
視察日時	7年10月17日 14時00分～15時30分
視察項目	・森林活用によるレジャー施設の運営と実態 ・環境保全と観光・公共施設との連携
視察者	秋葉新一・高橋菜穂子・石澤祐一・矢萩浩次・細矢清隆・森直也・ 松倉慶子・瀧田順子
報告者	瀧田順子
視察の内容	<p>●施設概要</p> <p>フォレストアドベンチャー小田原は、神奈川県小田原市郊外に位置している森林体験型アドベンチャーパークです。「森を守りながら楽しむ」を理念とし、森林保全と観光事業をマッチングして展開している。</p> <p>専用の安全ハーネスを装着して、森の樹から樹へ空中移動していく、フランス発祥のアウトドアパークです。</p> <p>最大の特徴は「自分の行動と安全は自分で管理し守る」という自立要素と「森林の自然環境の中を冒険して遊ぶ」という娯楽要素を高度に融合したことにあり、小田原は樹齢300年の杉の大木が点在し原生林の面影を留める森の中にそのダイナミックな地形と景観を生かしたコースが作られている。</p> <p>ジップトリップコースが9コース、38のアクティビティがあり各コースにあるジップスライドは、最長106m高さ20m超え、約1時間半の樹上の大冒険が楽しめる。</p> <p>隣接している「わんぱくランド」や「いこいの森キャンプ場」など公共施設とも連携し、自然・遊び・学びを融合したエリアマネジメントを実践している。</p> <p>・フォレストアドベンチャー小田原は現在、運営と安全管理の両面で自社独立体制を整備している。</p> <p>●森林活用と環境について</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦山林保全を目的に「山をどう守るか」に重点を置いた運営 ◦アスレチックに使う木は直径40cmあれば十分使用できる ◦ジップラインなどであれば耐久性を考慮してより太い木を使用 ◦樹種は主にスギ。地域や立地に応じて松・広葉樹なども使用可能 ◦地元木材の木くずを森の小径に再利用

●設備構成・安全管理について

- ・フォレストアドベンチャーはヘルメット不要の設計になっている
- ・ヘルメットを廃止することで衛生管理が軽減できている
- ・ケーブル構造上、衝突や接触リスクが少ない
- ・毎朝デイリーテックで落ち枝など確認を行う
- ・全国で同レベルの安全基準マニュアルが統一されている

●利用料金と運営体制について

- ・ジップトリップコース

利用条件・小学1年生以上かつ身長110cm以上、体重110kgまで

大人・小人（小1年から17才）一律：4000円

- ・キッズコース

利用条件・身長90cm以上小学校3年生まで

小人のみ（45分遊び放題・）2000円

営業期間・通年

営業時間・9時～17時

定休日・不定休

年間利用者数・20,000人

- ・週末：100人前後／日 繁忙期：200～400人／日

●併設施設・新規事業について

- ・いこいの森キャンプ場は指定管理で運営
電源・Wi-Fi完備・オートキャンプ・コテージ完備・ソロキャンプなど多様な宿泊に対応
- ・サウナ事業の展開
川サウナ（水風呂）が若者層・女性客に人気がある
- ・森を走るマウンテンバイクパークコースも

●総括

フォレストアドベンチャー小田原は、単なるアクティビティ施設ではなく自然保全・地域振興・観光体験を融合させ森林マネジメントを行っている。地域資源を生かしながら、環境・経済性を高め持続可能な森林活用事業「遊びと自然保全」を両立している。東沢公園も公園環境が似ていることから、参考にする事が誘客に繋がると予想される。